

平成 27 年度 第 46 回千葉県中学校バスケットボール新人大会 総評

千葉県小中学校体育連盟他主催、千葉日報社他後援の第 46 回千葉県中学校バスケットボール新人大会は 11 月 1 日（日）、7 日（土）、8 日（日）の 3 日間、市原臨海体育館をメイン会場とした 6 会場で行われた。

男子のベスト 4 には、シードから順調に勝ち上がったちはら台南中（市原）に加えて、ノーシードから勝ち上がってきた下貝塚中（市川・浦安）、館山三中（安房）、松葉中（柏）が出そろい、準決勝は下貝塚中対松葉中と、館山三中対ちはら台南中の対戦カードとなった。巧みなボールコントロールと、高い運動能力を持つ選手を擁する松葉中と、力強いプレーと、早い展開を得意とするちはら台南中が決勝に進んだ。

決勝戦は序盤、両チームともオールコートマンツーマンでスタート。松葉中は素早いヘルプディフェンスを駆使した激しいプレッシャーからの早い展開で得点。対するちはら台南中は巧みなロングパスからの得点で応戦。松葉中は⑦築館のドライブ、⑤増子のリバウンドシュートを確実に沈め、徐々に差を広げる。ちはら台南中も⑦金森の 3 P、⑤滝沢、⑨美濃の力強いリバウンドからのセカンドチャンスを狙うも、松葉中の堅い守りに阻まれる。後半、松葉中は⑥太田のミドルシュート、④岩本のドライブがよく決まり、ちはら台南中は④藤田、⑤滝沢の粘り強いリバウンドからのシュート、⑧安孫子の速攻で得点し追いつがる。第 4 Q ちはら台南中は、積極的にプレッシャーを仕掛けるオールコートディフェンスで松葉中のミスを誘い、⑤滝沢の果敢なリバウンドシュート、⑦金森、⑧安孫子の速攻で追いつがるも松葉中は④岩本のジャンプシュートがよくきまり、追従を許さない。最後は松葉中がリードを守り試合終了、新人戦初優勝に輝いた。

一方女子のベスト 4 は、シードから順調に勝ち上がった昭和学院中（市川・浦安）、海神中（船橋）、シード校を破り勝ち進んだ山武南中（山武）、妙典中（市川・浦安）が顔をそろえた。準決勝は昭和学院中対山武南中と、妙典中対海神中の対戦カードとなった。決勝には、前人未踏の新人戦 9 連覇を狙う昭和学院中と、力強いインサイドプレイとスピードあふれる速攻で勝利してきた海神中という、昨年度の決勝と同一カードとなった。

決勝戦は、序盤、両チームともはげしい Def でスタート。リベンジを狙う海神は④遠田、⑤干、⑪小山の果敢なドライブや速攻で得点。昭和学院中も粘り強い Def からのスティールで応戦。一進一退の攻防が続く。第 2 Q に入ると、昭和学院中がよく走り、速攻が決まる。昭和学院⑦倉林のドライブから⑥渡辺のインサイドへの合わせなどがよくきまり、突き放しにかかるも、海神中も④遠田のドライブ、3 P などで食い下がる。

後半に入ると、海神中がリズムをつかみ始め⑤干、⑨高橋のハイロー、ドライブで次々と得点し、④遠田のフリースローで逆転。昭和学院も⑥渡辺、⑧砂川の粘り強いインサイドで再逆転。第 4 Q、昭和学院中のオールコートディフェンスが機能し、スティールからの得点、⑥渡辺、⑦倉林のピック&ロールからのシュートが決まり徐々に差が開き始める。海神中も④遠田、⑤干の速攻、ドライブで食い下がり昭和学院中が勝利し、千葉県新人大会 9 連覇を果たした。

今年度の新人大会では、各支部とも、実力あるチームが代表として出場し、僅差のゲームが見られるなど、千葉県中学生バスケットボールの全県的なレベルの向上が見られる大会であった。一生懸命にボールを追いコートをかけまわるなど、中学生らしいひたむきなプレーには見る人を魅了するものがあった。次回の県大会である春の選手権大会では、より多くのチームが出場するだけに、全県からレベルの高いチームが集い、より質の高いゲームが展開されることが予想される。

最後になりましたが、TO 指導や会場準備など、開催地区である千葉支部、市原支部の役員の先生方、生徒の皆様、支部外からお手伝いいただいた先生方、バスケットボール関係者の皆様のご尽力により大会を無事終えることができました。ご協力に対し心から感謝いたします。

文責 中体連バスケットボール専門部
報道委員会 中村 圭吾（四街道中）